

白井市 地域公共交通網形成計画

タウンミーティング まとめ

平成29年10月

1. 実施概要

(1) 開催概要

タウンミーティングの実施状況について、以下表に示す。

表 1 タウンミーティングの実施状況

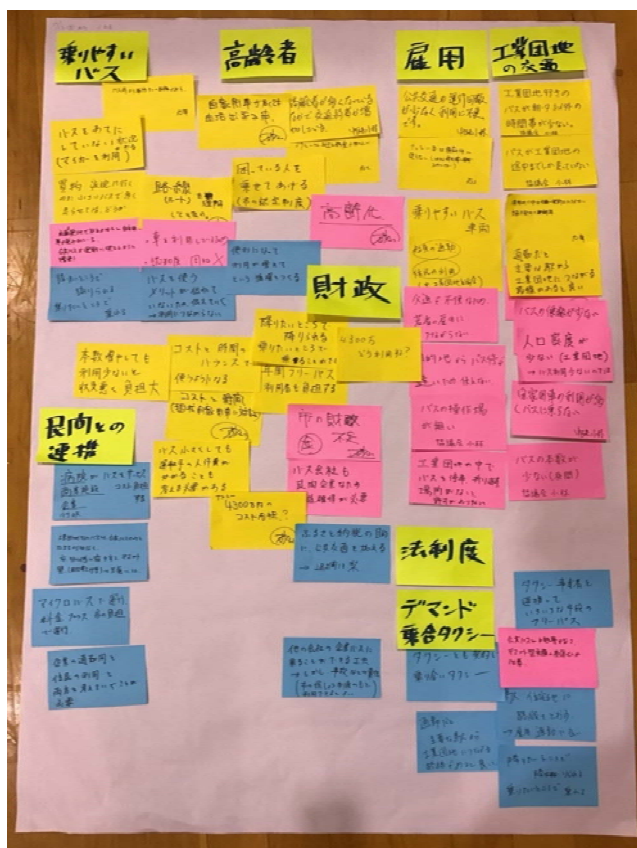
開催日	会場	時間	人数
10月14日(土)	公民センター	10:00~12:00	12人
	白井コミュニティセンター	15:00~17:00	1人
10月15日(日)	桜台センター	10:00~12:00	5人
	白井駅前センター	15:00~17:00	10人
10月28日(土)	西白井複合センター	10:00~12:00	35人
	富士センター	15:00~17:00	15人
合計			78人

(2) 内容

- 1) はじめに タウンミーティングの趣旨について
- 2) 市長から あいさつ及び市の現状についての説明
- 3) 企画政策課から 「白井市地域公共交通網形成計画」の概要説明
- 4) ワークショップ 市内の交通に関する課題、原因と想定されるもの、課題への対応策
 - ・グループ討議
 - ・グループによる発表



《ワークショップの結果》 10月14日（土）公民センター グループ①



1. 市内の交通に関する課題

- ・バス停から目的地までの距離がある。
- ・高齢者が多くなっている中、交通弱者が増加している。
- ・タクシーはお迎え料金がほとんどを占める。
- ・公共交通の運行回数が少なく、利用に不便。
- ・ナッシー号は通勤用に使えない（使える時間帯に運行されていない）。
- ・工業団地行きのバスが朝・夕以外の時間帯が少ない
- ・バスが工業団地までしか走っていない。
- ・工業団地の中は便利なバスがないので、交通不便地の解消が必要。
- ・通勤だと、主要な駅から工業団地につながる路線があると良い。
- ・本数増やしても、利用が少ないと、収入悪く負担大。
- ・コストと時間が高い（現状、自家用車に対して）。
- ・ナッシー号 4300 万円のコスト分担をどう考えるか。

2. 原因と想定されるもの

- ・自家用車がなくても生活できる。
- ・交通不便地であるがゆえに自家用車が使われている。公共バスが便利に使えるように。
- ・車を利用しているため使わない。
- ・認知度、周知が低い。
- ・路線（ルート）を理解していない。
- ・高齢化。
- ・市の財政不足。

- ・バス会社も民間企業なため、利益確保が必要。
- ・交通で不便なため、若者の雇用に繋がらない。
- ・バスの便数が少ない（特に昼間）。
- ・人口密度が少ない（工業団地）。バス利用が少ないのでは。
- ・工業団地の中でバスを停車、折り返す場所がない。許可が下りない。バスの操車場が無い。

3. 課題への対応策

- ・病院、商業施設、企業、行政、バスをサービス。コストを負担する。
- ・工業団地内のバスは、公共バスのみには頼るのではなく市、団地等に協力する。
- ・マイクロバスで運行。料金プラス市の負担で運行
- ・企業の通勤用と、住民の利用と両方を考えていくことが必要。
- ・ふるさと納税の目的に、公共交通を加える。返納は梨など。
- ・他会社の企業バスに乗ることができる工夫。しかし、事故などの責任（市の保証制度のもと利用できるとよい）。
- ・タクシーとも契約し、乗合タクシーを運行。
- ・通勤用に、主要な駅から工業団地につながる路線があるとよい。
- ・タクシー事業者と連携し、いろいろな手段のフリーバスを導入。
- ・駅、住宅地に路線を通す、雇用、通勤によい。
- ・降りたいところで降りられる。乗りたいところで乗れるようにする。
- ・降りたいところで降りられる。乗りたい所で乗れる。
- ・バスを使うメリットが伝わっていないため、伝えていく→利用につながらない。
- ・便利になって利用が増えてという循環を作る。
- ・乗りやすい車両（社員の通勤、住民の利用）
- ・年間フリーパス。利用者も負担する。
- ・困っている人を、自家用車に乗せてあげられるようにする（市の認証制度）。
- ・買物、病院に行くのに、小さいバスで多く走らせてはどうか。
- ・バス小さくしても、運転手の人件費がかかることも考える必要がある。

《ワークショップの結果》 10月14日（土）公民センター グループ②



1. 市内の交通に関する課題

- ・バスが無い。バス停まで行くのが大変。
- ・バス停留所までの移動が大変である。
- ・バスの時刻が（本数）あまりなくて、違う移動方法を使う。
- ・バスは時間通りに進まないのを利用しにくい。
- ・バスが渋滞の原因になっている時がある。
- ・現在時点では、自家用車で移動できるので、不便は感じていない。ナッシー号は停留所まで遠いので利用できない。路線バスも遠出の時にしか利用しない。
- ・不便だと感じてしまう。
- ・工業団地の企業が、バスをもっと使用できるように、いろいろなバス路線を網羅した時刻表、路線網の案内を作成してほしい。
- ・企業送迎バスを実施している会社と協力して、柔軟に他企業も乗り合えないか検討することはできないだろうか？
- ・新鎌ヶ谷へのバス路線を通勤時間帯に設定してほしい。
- ・高柳からきているバスをもう少しバス停を増設してほしい。
- ・鎌ヶ谷観光の意欲的な取り組みに協力して、工業団地路線の新設に協議してほしい。
- ・ナッシー号を通勤に使えるように増車願いたい。
- ・北総線の運賃が高すぎて利用しにくい。
- ・電車はあまり乗らないので、たまに乗った時分ばかりに

- ・北総線の運賃を 30%程度値下げしてもらうように、白井市も強く、継続的に進めてください。

2. 原因と想定されるもの

- ・市民が住んでいる場所と工業団地が離れている。
- ・ナッシー号の路線が少ない。ナッシー号は停留所の間隔が長いのではないかな。
- ・交差点の渋滞で、バス運行に時間がかかる。バス路線の交差点改良が必要。
- ・道路の整備がされていない。
- ・バス停までが遠い。バス停も危険。
- ・座席が狭い（荷物が置けない）。
- ・バス利用者が離れて点状している。
- ・バスの折り返しどころがないということで、ローソン駐車場から神々廻まで、路線変更は難しい。
- ・レインボーバス以外の市内バス会社を支援して、長期的にバス路線を作ることができていない。
- ・分かりにくい。情報の公開。（どこからどこまで、時間）調べやすくする。
- ・他と比べて利便性がうすい。

3. 課題への対応策

- ・新しくバス通勤になる社員が増えるまで、赤字路線を維持する、投資する。
- ・仕事で利用している人に割引サービスなど。
- ・身近に感じてもらう。情報公開。調べやすく。わかりやすく。
- ・利点のアピール（安いです、早いです）。
- ・バス停の安全性を高める。
- ・ナッシー号の路線を増やす。
- ・ナッシー号のようなコミュニティバスに対して、国からの補助を検討する。
- ・バス停の整備。次に来るバスがどこにいるかの情報を出す。待ち時間が長い。
- ・バス停の整備。待ち時間が長いので、ベンチ、雨よけ設置。
- ・工業団地の活性化（に向けて企業が利用しやすい環境づくり、道路整備）。
- ・工業団地に通勤する人を1万人目指す（利用者が少ないため）。
- ・自転車安全に通行できる施策の推進をする。
- ・バス専用道路（渋滞の解消）。

《ワークショップの結果》 10月14日（土）白井コミュニティセンター

※ 白井コミュニティセンターの参加者は1名であったため、市長との対話形式でのヒアリングを実施した。
(参加者は第二小学校区在住であったため、お住いの地区についてお話を伺った。)

1) 平塚地区の概況

- ・平塚地区では親子3世代で住んでいる世帯が多く、家族の運転で外出できるので。バスや電車が無くても不便ではないと感じていた。また近所付き合いが深く、公民センターの行事があると誘えば、誰かが運転していくようになる。バス停までの距離が遠いこともある。

2) 当該地区での交通行動

- ・買い物は車で印西市に行くのが白井方面に出るより近い。柏方面にも行くが、鎌ヶ谷には行かない。
- ・中学生の通学は自転車もしくは家族の送迎が多く、雨の日はカッパを着て自転車に乗っている。
- ・高校生も駅まで自転車で行くのが多いが、親が毎日送り迎えする人もいる。利用駅は、小室より千葉ニュータウン中央の方が多い。

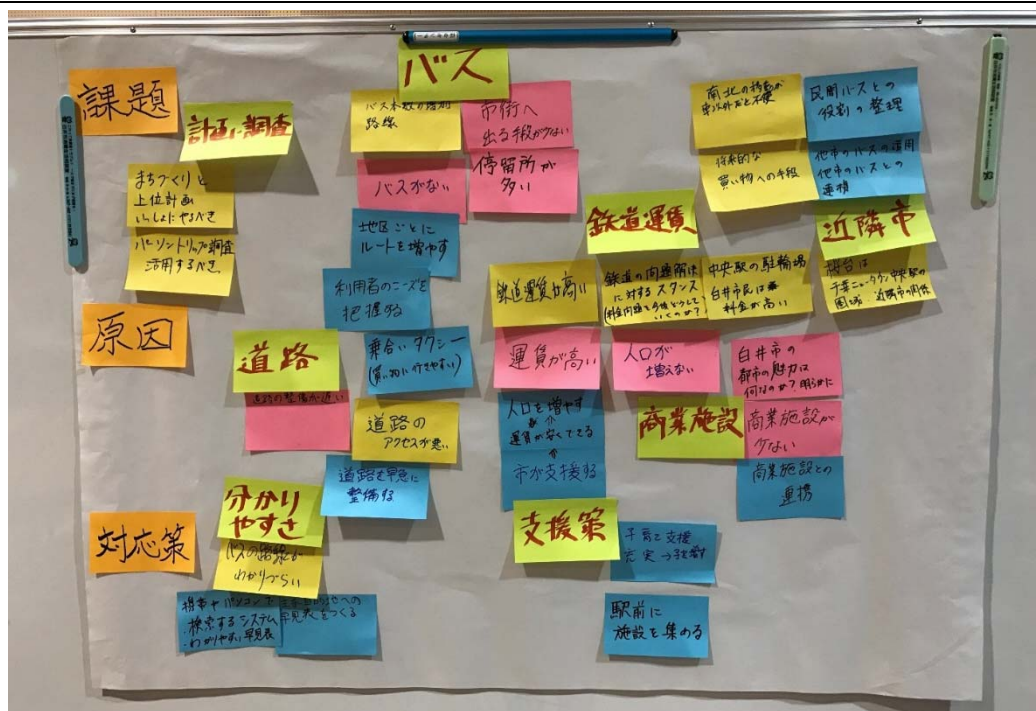
3) バスの利用状況

- ・ナッシー号をいま一番使っているのは子供たちである。バス停まで距離があるので、親が家からバス停まで送り迎えするような状況である。特に、冬は早く暗くなるので、特に送り迎えが必要。

4) 問題意識と対応策

- ・平塚地区では市外への通勤が多いものの、通勤時間等を考えると、子供の世代が通勤に便利な他市域に引っ越してそのまま白井市に戻ってこないことがある。そのため、今後2世代、1世代となった場合、何かしらの移動手段が必要となる。
- ・現在70歳の人も車を自分で運転しているが、75歳を過ぎると免許返納の必要性が出てくるだろう。
- ・鉄道整備は無理なので、バスが重要と考えられる。一方で、毎日使うものではないので、週1~2回であればタクシーでも可能ではないかと考えられる。安価な料金で使えればよい。場合によっては、クルマの維持費に比べれば安いとも考えられる。
- ・バスの運行本数は、午前2便、午後2便くらいは欲しい。1便逃してバスを2~3時間待つようであれば、タクシーの方が良い。
 - ・勤務先が問題の原因の1つと考えられるが、白井工業団地への市民の就職が増えるようなPRが必要。

《ワークショップの結果》 10月15日（日）桜台センター



1. 市内の交通に関する課題

- ・まちづくりと上位計画を一緒にやるべき。
- ・パーソントリップ調査を活用するべき。
- ・バスの本数の増加が必要。
- ・バスが無い。
- ・地区ごとにルートを増やす。
- ・利用者のニーズを把握する。
- ・乗合タクシー（買物に行きやすい。）。
- ・市外へ出る手段が無い。
- ・停留所が多い。
- ・鉄道運賃が高い。
- ・鉄道の問題解決に対するスタンス（料金問題を今後どうしていくのか？）。
- ・人口が増えない。
- ・中央駅の駐輪場、白井市民は料金が高い。
- ・白井市の都市の魅力は何なのかを明らかにする。
- ・南北の移動が車以外だと不便。
- ・将来的な買い物への手段。
- ・民間バスとの役割の整理。
- ・他市のバスの活用。他市のバスとの連携。
- ・桜台は千葉ニュータウン中央駅の圏域なので、近隣市の関係も考えるべき。

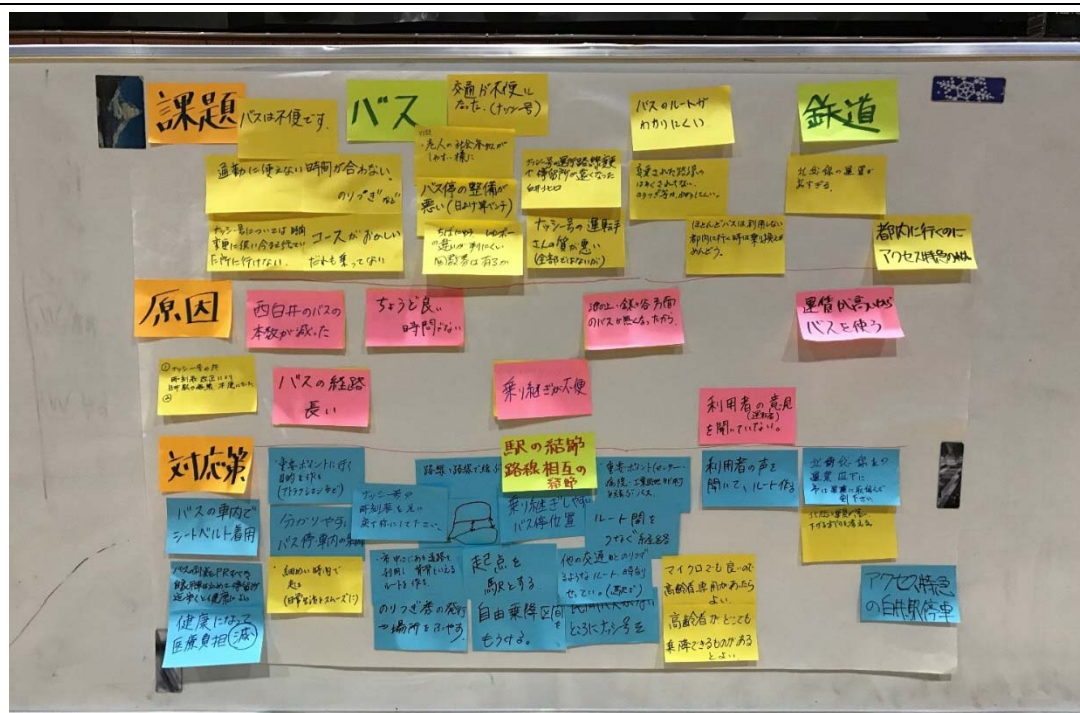
2. 原因と想定されるもの

- ・道路の整備が悪い。
- ・道路のアクセスが悪い。
- ・道路を早急に整備するべき。
- ・バス路線がわかりづらい。

3. 課題への対応策

- ・携帯やパソコンで検索するシステムや、わかりやすい早見表を入れる。
- ・主な目的地への早見表を作る。
- ・商業施設が少ない。
- ・商業施設との連携。
- ・市が支援する→運賃を安くできる→人口を増やす
- ・子育て支援の充実をして、子どもを増やす。
- ・駅前に施設を集める。

《ワークショップの結果》 10月15日（日）白井駅前センター



1. 市内の交通に関する課題

- ・バスは不便です。
- ・通勤に使えない。乗り継ぎなどが不便であり、時間が間に合わない。
- ・ナッシー号については、時間変更に伴い、今まで行っていたところに行けない。
- ・コースがおかしい。誰も乗っていない。
- ・交通が不便になった。（ナッシー号）
- ・老人の社会参加がしやすいように。
- ・バス停の整備が悪い。（日よけ、ベンチなど）
- ・ちばにう、レインボーの違いが分かりにくい。回数券はあるのか。
- ・ナッシー号の運行変更で停留所が遠くなった（白井北口）。
- ・ナッシー号の運転手さんの質が悪い（全部ではないが）。
- ・バスのルートがわかりにくい。
- ・変更された路線の把握がされていない、乗り継ぎなどはわかりにくい。
- ・ほとんどのバスは利用しない。都内に行く時は、乗り換えが面倒。
- ・北総線の運賃が高すぎる。
- ・都内に行くのにアクセス特急に乗れない。

2. 原因と想定されるもの

- ・ナッシー号の件。時刻表が改正により、白井駅の発着が不便になった。
- ・西白井のバスの本数が減った。
- ・バスの経路が長い。
- ・ちょうど良い時間ではない。

- ・乗り継ぎが不便。
- ・池の上、鎌ヶ谷方面のバスが無くなったから。
- ・利用者（運転者）の意見を聞いていない。

3. 課題への対応策

- ・バスの車内でシートベルト着用。
- ・バスの利点を PR すべき。自家用車は止めて、停留所まで歩くと健康にいい。
- ・健康になって医療負担減。
- ・重要ポイントに行く。目的を作る（アトラクション等）。
- ・分かりやすいバス停・車内の案内。
- ・細かい時間で走る（日常生活をスムーズに）。
- ・ナッシー号の時刻表を元に戻すようにしてください。
- ・北総線の運賃値下げに市は真剣に取り組んでください。
- ・北総線の運賃を下げる方向を考える。
- ・アクセス特急の白井駅停車。
- ・路線と路線で結ぶ。
- ・市中心にある道路を利用し背骨といえるルートを作る。
- ・乗継券の発行について、利用できる場所を増やす。
- ・乗継しやすいバス停。
- ・起点を駅とする。
- ・自由乗降区間を設ける。
- ・重要ポイント（センター病院・工業団地等）を結ぶバス。
- ・ルート間をつなぐ路線。
- ・他の交通と乗り継げるようなルート、時刻設定。（駅で）
- ・民間バスが無いところにナッシー号を。
- ・マイクロでもよいので高齢者専用があったらよい。
- ・高齢者がどこでも乗降できるものがあるとよい。
- ・利用者の声を聴いてルートを作る。

《ワークショップの結果》 10月28日（日）西白井複合センター グループ①



1. 市内の交通に関する課題

- ・日曜祝日のバス運行が無い。
- ・バスに乗りにくい（車椅子）。
- ・ナッシー号と一般のバスの時刻が重複して無駄。
- ・新鎌ヶ谷への直通が無くなった（七次台3丁目）。
- ・イベントに行くのにナッシー号に時間が合わない。
- ・西白井発から新鎌ヶ谷へのバスが2時間に1本はヒドイ。
- ・七次台3丁目からのナッシー号が新鎌ヶ谷直行がなく病院に行くのに困りました。
- ・夜にはバスが無くなる。
- ・北総線の駅での通過電車の風圧が危険。
- ・電車の本数が少ない。
- ・北総線の初乗り運賃が高い。
- ・支える世代の転出。
- ・七次台地区に点字ブロックも無い。
- ・スーパーなどが少ない。
- ・駐車スペースが少ない場合がある。
- ・高齢となり免許返納後の移動が心配。
- ・買い物支援への対応。
- ・工業団地で市民が働く。
- ・免許返納への対応。

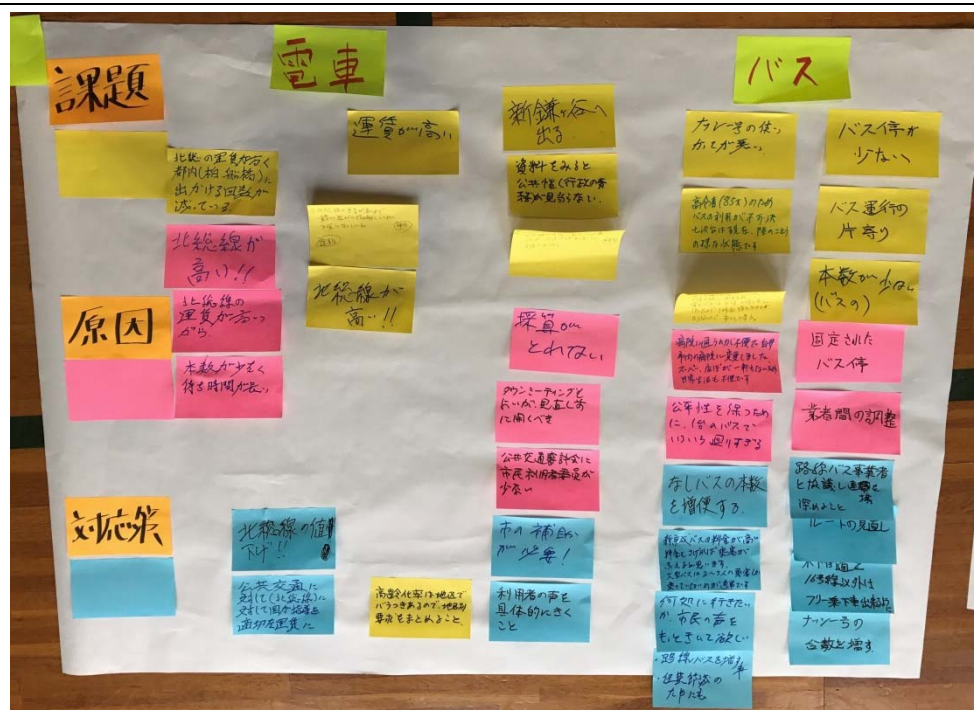
2. 原因と想定されるもの

- ・高齢者の足が少ない（自家用車×）。
- ・路線バスとナッシー号などのエリア、時間などの効率化がされていない。
- ・駐車場が少なく、バスの便も無い。
- ・ナッシー号の運転間隔が広すぎる。

- ・バス時刻の検討不足。
- ・移動手段も含めた対策が必要。
- ・北総線の高額運賃。
- ・高齢者の増加とともに多くなる。
- ・近くに商業施設がない。
- ・マイカー運転免許の返納。

3. 課題への対応策

- ・国の送迎サービスの行方を考える。
- ・バス停にスロープ等を設置し、乗りやすく（フラットに）。
- ・ナッシー号の利用料金を上げる。
- ・バス停に屋根をつける。
- ・電車運賃を値下げすること！
- ・富山のサントラム（市電）みたいな、車両と歩道をフラットにする。
- ・タクシーチケットなど負担を少なくなる対策。
- ・買い物専用バス（①バス会社②介護施設のバス）。
- ・他市では休日運行あり。
- ・バスの効率化（時間帯など）。
- ・バスの起点が市役所から駅へした方がよい。
- ・ナッシー号の運賃を上げてよい。
- ・住民の多い駅を起点に使いやすいようにする。
- ・オンデマンドバス。



1. 市内の交通に関する課題

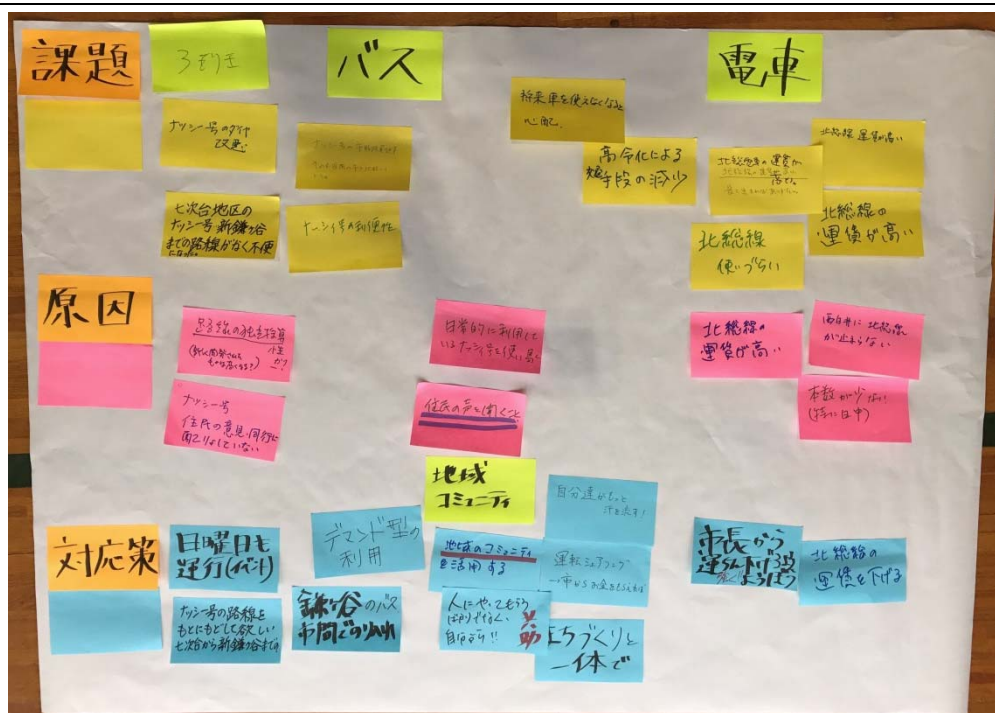
- ・ナッシー号の使い勝手が悪い。
- ・バス停が少ない。
- ・バス運行の片寄り。
- ・本数が少ない（バスの）。
- ・運賃が高い（鉄道）。
- ・北総の運賃が高く都内（柏、船橋）に出かける回数が減っている。
- ・新鎌ヶ谷へ出る。
- ・資料を見ると公共性（行政の責務）が見当たらない。
- ・北総線の運賃が高いので、東京に遊びに行くことが不便になっている。
- ・（旧市街地の人の意見）富塚の人の意見。北総線が開通する前はバスが来ていたが、今はバスが無くなって不便になった。

2. 原因と想定されるもの

- ・病院に通うのが不便で、白井市内の病院に変更しました。スーパー、店舗が一軒もないため日常生活も不便。
- ・固定されたバス停。
- ・事業者間の調整。
- ・公平性を保つために、1台でいろいろな回りすぎる。
- ・北総線が高い。
- ・本数が少なく、待ち時間が長い。
- ・採算が取れない。
- ・タウンミーティングもよいが、ナッシー号の見直しは市民に聞くべき。
- ・公共交通審議会に市民利用者委員が少ない。

3. 課題への対応策

- ・ナッシー号の本数を増便する。
- ・路線バス事業者と協議し連携を深めること。
- ・ルートの見直し。
- ・新京成バスの料金が安い。料金を下げれば、乗客が増えると思います。大型バスに2～3人の乗客しか乗っていないのが通常です。
- ・何処に行きたいか、市民の声をもっときいて欲しい。
- ・木下街道と16号線以外はフリー乗車できるように。
- ・ナッシー号の号数を増やす。
- ・路線バスを増やす事。
- ・経費削減のためにも利用者を増やす。
- ・北総線の値下げ！！
- ・公共交通に対して（北総線）に対して国が指導を、適切な運賃に。
- ・高齢化率は地区でバラつきがあるので、地区別要求をまとめること。
- ・市の補助が必要！
- ・利用者の声を具体的に聞くこと。



1. 市内の交通に関する課題

【バス】

- ・ナッシー号のダイヤ改悪。
- ・ナッシー号の市財政負担率を近隣の市と比較してどうか。
- ・七次台地区のナッシー号…新鎌ヶ谷までの路線が少なく不便になった。
- ・ナッシー号の利便性。
- ・将来車が使えなくなると心配。
- ・高齢化による交通手段の減少。
- ・北総電車の運賃が高い、安くできればありがたい。
- ・北総線は使いづらい。

2. 原因と想定されるもの

- ・路線の独立採算性か？（新しく開発されたものは高くなる？）
- ・ナッシー号住民の意見・同行に配慮していない。
- ・住民の声を聞くこと。
- ・日常的に利用しているナッシー号を使い易く。
- ・北総線の運賃が高い。
- ・西白井に北総線が止まらない。
- ・本数が少ない（特に日中）。

3. 課題への対応策

- ・日曜日も運行（イベント）。
- ・ナッシー号の路線を、七次台から新鎌ヶ谷まで行くように元に戻してほしい。
- ・鎌ヶ谷のバスの市間での乗り入れ。
- ・デマンド型の利用。
- ・市長から北総線の運賃下げよう強く要望。
- ・北総線の運賃を下げる。
- ・地域コミュニティを活用する。
- ・人にやってもらうのではなく自分から！！（共助）
- ・自分たちがもっと汗を流す。
- ・運転シェアリングを、市からお金をもらえば行う。
- ・まちづくり一体で取り組む。

《ワークショップの結果》 10月28日（日）西白井複合センター グループ④



1. 市内の交通に関する課題

- ・北総線の運賃高い（西白井～新鎌ヶ谷（620円））。
- ・北総線西白井～新鎌ヶ谷までの運賃のみ、各駅間を200円にまけてほしい。
- ・北総線の運賃が高いためバイトを断られる人がいる。特に西白井～新鎌ヶ谷。
- ・ナッシー号が無くなったので運賃が3倍になった。
- ・七次台～西白井～新鎌ヶ谷 980円。
- ・七次台～新鎌ヶ谷（ナッシー号 300円）。
- ・西白井～新鎌ヶ谷（620円）、船橋～船橋競馬場（130円）。
- ・バスの運行が少ない。
- ・高齢者、車の無い人には七次台から新鎌ヶ谷までは、不便になった（運賃は高い、本数少ない）。
- ・七次台から新鎌ヶ谷駅までの路線を復活してほしい。
- ・病院へのバス路線の誘導が強い印象がある。
- ・新鎌のバス停の時刻表が無かった。
- ・バス（ナッシー号）が不便になった。
- ・ナッシー号の8月の改編により、時間が変わり、不便になった（西白井～新鎌ヶ谷を主に利用）。
- ・七次台3丁目行きのバス便が少ない（午前中は、1時間に1本）。
- ・休・祭日にもナッシー号を走らせてほしい。
- ・バスの絶対利用者が少ない。
- ・ナッシー号の停留所の標識が不明瞭。わかりやすくすべき。
- ・高齢化になるのでバス本数を増やしてほしい。
- ・電車が無い分バスの料金は無料にすべし。
- ・バスの運行状況がわからない。

- ・バスの利便性が悪い。新鎌ヶ谷～西白井～大山口～西白井～清水口（約60分）。
- ・バス運行経費：6300万 市税：4300万で、市民負担¥0にならない。
- ・将来運転しなくなった時の移動手段。

2. 原因と想定されるもの

- ・ナッシー号の停留所の設置の仕方（同じバスが2度停留所に停まる）。
- ・1駅だけでも乗る時があるので、安いと助かります。
- ・高齢化。

3. 課題への対応策

- ・バスが不便だから。
- ・ナッシー号のルート変更検討。
新鎌ヶ谷～西白井～大山口～西白井～清水口（無駄です）。
- ・シルバー料金を設定する、時間帯も指定してもよいのでは。
- ・ナッシー号は無料全線。駅から遠い地区も駅に買い物に来る（今井とか）。
- ・もっと小さい車両で、回ってもらってもいいのではないだろうか。
- ・ナッシー号の便数を増やす。市の予算で。
- ・路線バスの便数を増やす。
- ・市役所を起点とした運行を見直した方がいいのでは。
- ・車も自転車にも乗らないのでナッシー号を利用したい。市役所を起点にした運行を見直しては。
- ・七次台3丁目～新鎌のルートを復活させてほしい。

《ワークショップの結果》 10月28日（日）西白井複合センター グループ④

・ナッシー号の運行ルートを再検討。 ・バス停増加。 ・北総線利用者の半額負担。白井市内で利用できる商品券で半額を返金。 →人口の増加、町の活性化 →財政健全化 ・ナッシー号は全車、全線無料へ（利用者が増えて町が活性化する。その分北総線運賃がカバーできる。）。 ・北総線の運賃を下げるべき。 ・人口増加するように努力すべきでは。 ・イオン（新鎌ヶ谷とニュータウン中央にある）に、特別料金で行けるようにする。 ・北総線の運賃は1駅と3駅の差がある。1駅が150円位になれば新鎌ヶ谷の方に行くと思う。 ・デマンド型や乗合タクシーの具体化。 ・免許返納の焦点。	
---	--



1. 市内の交通に関する課題

- ・新鎌ヶ谷に行くのが不便になった。
- ・乗り継ぎが悪くなった。
- ・便利だったものを不便にしている。
- ・七次台から新鎌ヶ谷へ行くバスが無くなり、大変不便。
- ・七次台 3 丁目から新鎌ヶ谷まで行くのが不便になっています。
- ・軽井沢（お風呂）に行けなくなった人が困っている（鎌ヶ谷方面）。
- ・新鎌ヶ谷までの時間がかかる。
- ・電車（バス）の時間と料金がかかりすぎる。
- ・野口台から新鎌ヶ谷に行くためコミュニティバスに乗ったら 1 時間かかった。今までのコースに戻してほしい。
- ・高齢者や障がい者にとって乗り降りの負担が多い。
- ・バス待ちが悪い。

2. 原因と想定されるもの

- ・なぜ循環バスのルートが変更されたのか。どういう原因か。
- ・鉄道の運賃が高すぎる。
- ・電車とバスの乗り継ぎが悪い。
- ・バスとバスの連絡が悪い。

3. 課題への対応策

- ・七次 3～4 丁目のコミュニティバスを前のように新鎌ヶ谷行きを直通戻してほしい。
- ・自動運転技術を活用（外出しやすくなる）。
- ・タクシーの補助とかがほしい。
- ・元のコースにしてほしい。
- ・七次のナッシー号を前の様に戻してほしい！！
- ・元のバス時間に戻してほしい。
- ・路線バスと循環バスの乗り継ぎをよくする。
- ・お互いに協力してほしい。（市と路線バス事業者）。
- ・新京成バスとコミュニティバスとの時間がかち合わないように（役割分担）。
- ・バスを待っている環境整備。

課題

- 病院に行くのが大変
- 新鎌ヶ谷通院
- 買い物に行くのが大変
- 福祉センターに行きづらい
- ナッシー号の客が少ない
- バスの時刻がわかりづらい (レインボー)
- 公共交通機関への道のりの安全性
- 路線・時刻表の決定に地域住民を入れるべき
- 電車の代金が高い
- タクシー台数 (小)

通院

- 病院に行くのが大変
- 新鎌ヶ谷通院

買い物

- 買い物に行くのが大変
- 新鎌ヶ谷への足が不便

その他

- 福祉センターに行きづらい
- ナッシー号の客が少ない

住の声

- バス時刻がわかりづらい (レインボー)
- 公共交通機関への道のりの安全性
- 路線・時刻表の決定に地域住民を入れるべき

電車

- 電車の代金が高い
- 免許廃止後の北総線の市からの利用パス

原因

- 数人を乗車させて 500 円位で買い物 (市街含む) や通院に利用できれば
- ナッシー号のルートが悪い
- 広いエリアをくるくる長い路線で走っているのて不便・非効率

ルート

- 数人を乗車させて 500 円位で買い物 (市街含む) や通院に利用できれば
- 広いエリアをくるくる長い路線で走っているのて不便・非効率

対応策

- 自治会住民協力
- 小さなエリアでくるくると回るルート
- 曜日ごとに地区を分けて運行する
- 新ルート
- まちづくり
- 利用促進
- 利用促進と作る

自治会住民協力

- 自治会内または班単位
- エリア単位でシャトルバス (住民の協力で行う)
- 近所での助け合い

小さなエリアルート

- 小さなエリアでくるくると回るルート
- 曜日ごとに地区を分けて運行する

新ルート

- 白井～西白井～新鎌ヶ谷のルート
- 他市との連携も必要!

まちづくり

- 市内の建物の立地する場所を考慮して配置する (まちづくり)
- 駅前商店街の活性化

利用促進

- 利用促進と作る
- まず一度乗ってみよう!
- 地元の病院をもっと使う!



1. 市内の交通に関する課題

- ・（北総線）運賃が高い。
- ・バスの乗り継ぎが不便・困難。
- ・（ナッシー号の）路線の変更。
- ・バスと鉄道の乗り継ぎ不便。
- ・多少運賃が高くなってもいいです。バスを増やして下さい。
- ・バス停まで歩いていくのが大変だ。
- ・バスの時間が合わない。
- ・路線バスが1時間おきに1本となったこと。
- ・バスの本数が少ない。
- ・運行本数が少ない。
- ・ナッシー号の路線変更に不満。
- ・富士地区はバスに頼るしかない地域です。
- ・道路渋滞でバスの時刻が信用できない。

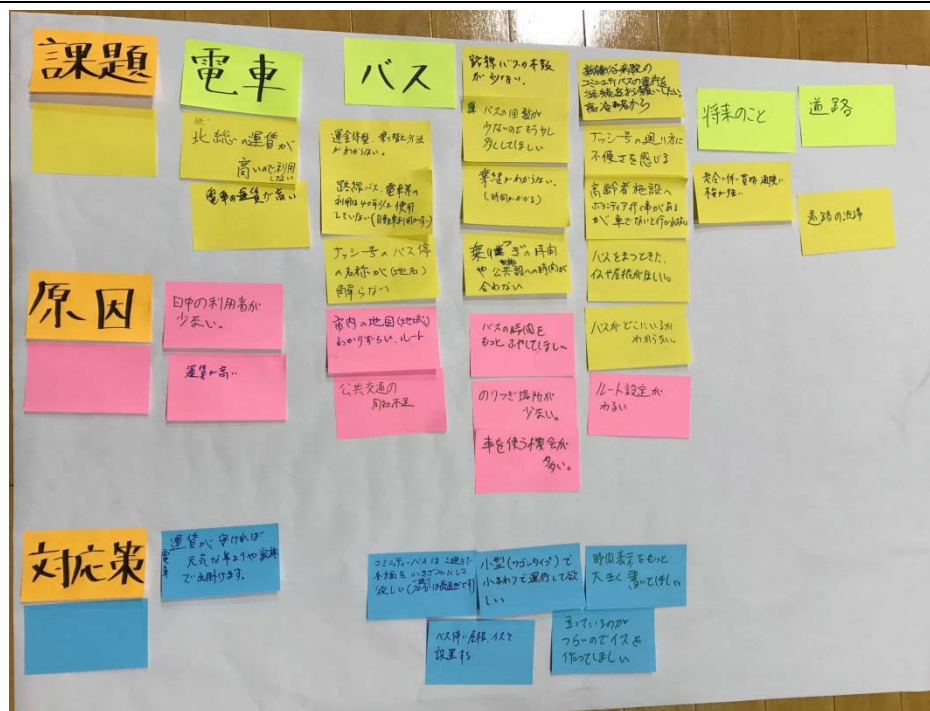
2. 原因と想定されるもの

- ・ナッシー号の路線は改善ではなく改悪。
- ・他のバス間での乗り入れ。
- ・レインボーバスの減便。
- ・ナッシー号の減便。
- ・路が狭くバス（バス停設置）通れない。
- ・乗継できる便が少ない。

3. 課題への対応策

- ・バスを増便してほしい。
- ・利用者の要望をよく聞く。
- ・バスの小型化。
- ・ルート細分化。
- ・実験、分析、現状を知る。
- ・ボランティアで運転手を募る。（車、ガソリンは市で負担）。
- ・民間と同じ運賃にする。
- ・バスを新鎌ヶ谷駅に（市でも民間でも）。
- ・運賃をレインボーと同じくらいに、利便性重視。

《ワークショップの結果》 10月28日（日）富士センター グループ③



1. 市内の交通に関する課題【鉄道】

- ・電車の運賃が高い。
- ・運賃体系、乗換方法がわからない。
- ・路線バス、電車などの利用は40年以上使用していない（自動車利用が多い）。
- ・ナッシー号のバス停の名称が（地名）解らない。
- ・路線バスの本数が少ない。
- ・バスの回数が少ないのでもう少し多くしてほしい。
- ・乗継がわからない（時間がかかる）。
- ・乗継の時間や公共施設への時間が合わない。
- ・新鎌ヶ谷病院のコミュニティバスの運行の継続をお願いしたい（高齢者から）。
- ・ナッシー号の回り方に不便さを感じる。
- ・高齢者施設へボランティアへ行くことがあるが車でないと行かれない。
- ・バスを待つときに、椅子や屋根が欲しい。
- ・バスがどこにいるかわからない。

2. 原因と想定されるもの

- ・市内の地図（地域）解りづらい、ルート。
- ・公共交通の周知不足。
- ・バスの時間をもっと増やしてほしい。
- ・乗継場所が少ない。
- ・車を使う機会が多い。
- ・ルート設定が悪い。
- ・日中の利用者が少ない。
- ・北総の運賃が高いので利用しない。

3. 課題への対応策

- ・運賃が安ければ元気な年寄りや家族で出かけます。
- ・コミュニティバスは小回りで各方面を小刻みにしてほしい（1回り70分は長すぎです）。
- ・小型（ワゴンタイプ）で小回りで運行してほしい。
- ・バス停に屋根、イスを設置する。
- ・時間表示をもっと大きく書いてほしい。
- ・老齢に伴い買い物、通院に不安が強い。
- ・道路の渋滞を解消する。